

# ちようふ環境市民会議 第11回定期総会

2019・5・19(日)

14:30 ~ 16:30 受付 14:00~

会場:あくろす研修室3

## 議 事 次 第

1. 開会挨拶

2. 議長選出・定足数確認・書記任命

3. 議事進行

第1号議案 2018年度事業報告 ..... P. 1

第2号議案 2018年度収支報告..... P. 6

第3号議案 2018年度監査報告..... P. 7

第4号議案 2019年度事業計画案..... P. 7

第5号議案 2019年度予算案..... P. 10

第6号議案 役員の選任 ..... P. 11

4. 議長・書記 解任

5. 閉会

## ■第1号議案

## 2018年度事業報告

### ○2018年度活動方針

- ・東日本大震災後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。
- ・調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、環境を考える市民・事業者・団体に向けて活動で得られた情報や知恵を共有できるよう連携して活動していきます。
- ・市民・活動団体・企業等との連携を図るプラットフォームとしての役割を担う上で必要となる、市民向け環境情報の受発信の基地等についても検討していきます。
- ・予算要望活動により、これまでの環境学習交流推進事業委託の他に、新たに①環境基本計画を実効性のある計画とするための「協働推進事業」、②深大寺・佐須の公有地有効活用事業、③崖線ウォークイベント事業、④緑地保全のための先進事例を学ぶ事業の業務受託など、環境市民会議の役割と責任が大きくなりました。今後、プロジェクト(PJ)ごとに事業実施に取り組みます。これら多岐にわたる委託事業や自主事業を継続していくプロジェクトチーム(PJ)には、多くの会員のご協力をお願いいたします。
- ・今後も継続して環境保全活動を担う人材確保のため組織運営の再構築についても検討します。

### ○2018方針にもとづき活動しました

- ・平成28年度施行の調布市環境基本計画(2016—2026)には、ちょうふ環境市民会議が市民団体・事業者・行政と連携をとりながら推進体制を担う市民組織として位置づけられています。2017年度環境基本計画の見直しについて市民との協働等について提案をした結果、「環境基本計画協働推進委託事業」を受託し中間報告のあり方、人材育成等の講座提案をしました。2019年度の事業委託につながっています。
- ・佐須地域の公有地化した土地活用について、「深大寺佐須協議会」の開催と、深大寺・佐須地域環境資源管理・活用委託事業の受託により2年間の暫定使用について提案しています。
- ・新たに、緑と公園課から2件の事業を受託し、新たなルートで実施した「崖線ウォーク事業」と職員と市民が共に学びあう「緑地保全のための先進事例学習事業」では5回の講座を実施しました。
- ・2009(平成21)年3月の設立から10年が経ちましたが活動拠点の確保については実現していません。

### 1. 組織運営報告

#### 理事会 (理事10名→途中退任2名 及び監事1名)

- ・定例理事会を年12回開催しました。
- ・受託事業業務管理について業務ごとに担当理事を決めましたが、事業数が増えたため1部理事の負担が増えました。また事務局長の逝去に伴い年度途中から事務局が一人体制となりました。

- ・行政との懇談会（環境政策課及び緑と公園課）を3回行う中で、環境基本計画協働推進を進めていくための方法、佐須の取得地に関する暫定使用のやり方など情報交換及び意見交換を行いました。また子どもエコクラブの参加者が減っていることから新たな開催方法を模索するための職員による見学会の報告を受け、市民会議からは環境学習に関する行政と学校との連携について意見を述べました。
- ・環境市民会議として、「調布市環境基本計画及び調布市地球温暖化対策実行計画改定支援業務」の受託業者のプロポーザル選定委員の推薦を行い、理事1名がプロポーザルに参加しました。

### 運営会議（環境市民会議会員）

2回実施。いずれも交流会の内容について話し合いました。今年度は受託事業が増え運営会議の開催が時間的に難しかったことと、実際に開催しても参加者が少ないことなどから今後は会員の意見をすくい上げる方法に工夫が必要です。

### 事務局（事務局長1 / 局員1 / 会計1で構成→年度途中より局長不在 / 会計1）

2018(平成30)年度事業計画の年間進行管理を行いました。理事会・運営会議議題案の作成や資料準備や議事録、個人会員・団体会員に対する連絡、会計業務（受託会計含む）及び行政との連絡調整・進行管理など、事務一切を担当しました。

### 会員動向 【2018年度末 会員数】（ ）内は昨年度実績

個人会員：47 (49)      団体会員：13 (13)      法人会員：5 (5)      /      サポート会員：13 (14)

## 2. 事業報告

### <自主事業>

#### (1) 交流事業

##### ①雑木林連絡会（担当：安部・大村）

年間4回の連絡会を開催し、緑と公園課からは予算や公有化された緑地に関する情報提供などを受け、5つの保全作業グループからは樹木伐採や斜面地の流水に関する要望や様々な情報交換を行いました。第3回目の連絡会については若葉町第2緑地において12名の参加者を対象に安全講習会を開催しました。

また環境市民会議の企画運営による「みどりの国分寺崖線ウォーク」にも実行委員会の段階から連絡会の保全作業団体が参加し当日も多くのスタッフが協力しました。

##### ②イベント参加・活動PR（担当：紺野 他カニ山の会など）

- ・アースデイ in 調布2018 5/12(土) 場所 調布駅前広場（ビックカメラ前）植物の苗、ペットボトルケース、などの販売、クラフト名人によるクラフト実演、かに山の会の竹コップ作りなど、募金をしてくださった方々もいて感謝してます。募金含む売上 9805円でした。
- ・調布市主催「環境フェア」6/2(土) 市役所前庭（担当：山本・鍛冶+含むスタッフ延べ8名）

例年通り「自然だより」「もりのちず」その他、環境活動関連のチラシ等を配布し環境市民会議のPRに結びました。体験コーナーとしては丸太切りタイムトライアルの他、野の花ツアーとして市庁舎近辺の野草を観察しました。丸太切は子ども以外にも他のブースの若者たちが参加し、楽しんでいました。

・**多摩川自然情報館祭り 11/3(土)** 多摩川自然情報館 (担当：鈴木+スタッフ4名)

多摩川河原のクズを使ったリース作りで参加。昨年も好評だったためクズを多めに採取し、準備。開会時は人出が少なく心配しましたが結局40名の参加があり、親子で楽しめるコーナーとなっています。300円×40名はスタッフ代と材料費を差し引いても黒字となりました。

**(2) 広報事業** (担当：事務局)

- ・**ちょうふの自然だより 5回発行** カラー版144～148号を発行。発行日にはHPにもアップしています。環境政策課を通し市内公共施設に配布すると共にできるだけ会員団体にも手渡しで配布しました。
- ・**ホームページ (ブログ)** HP基本管理1名(委託)。更新記事は事務局が担当。PCだけでなくスマホでも見やすいHPになるよう年度途中で画面を一新しました。カテゴリやメニューについては引き続き整理していきます。同時にFacebook ちょうふ環境市民会議でも発信をしています。

**<受託事業>**

**(1) 雑木林ボランティア講座運営事業** (担当：里・尾辻・中原+補助スタッフ2名)

年間6回の講座を開催しましたが、例年に比べて当初の受講者数が少なかったことに加えて市内樹林巡りバスの予約が予定通りいかなかったことで開催日の変更を余儀なくされた影響もあったのか第5回・6回の欠席が目立ったのは今後の課題となりました。

尚、今年度の全講座終了後に初めて試みた講師懇談会に於いては他講師の講座内容を知ること、自身の講座内容についてより一層深めてもらうきっかけになったものと思われまます。更に、今年度受講生の講座終了後における各保全団体への入会が少なかったことについて講師の視点から受講生へのフォローのアイデアなども出て次年度講座運営へ実りある有意義な話し合いになりましたので次年度以降も実施していきたいと思ひます。

**(2) 環境保全団体・市民の交流事業** (担当：安部・鍛冶)

第10回環境活動交流会 ～ちょうふ再発見 自然とまち～

6/29(金)～7/1(日) たづくり 南ギャラリー

- ・「調布環境保全団体の活動紹介展」パネル・写真・動画 パネル展示団体26参加者約150名
- ・「こんなところもあったの？ 調布自然百景 Instagram フォトコンテスト」では86点の応募作品から10点をノミネートし、会場の観覧者の投票によって優秀賞を決定しました。
- ・「調布の里山を楽しむ・つくる・いかす」では調布市まちづくり審査会委員の鉄也氏をお呼びしてのワークショップを開催しました。参加者20名
- ・交流カフェでは3つのテーマに沿って参加者が感想や意見交換を行いました。

参加者10名×3回

**(3) エコライフ推進プログラム事業（ゴーヤ苗配布）**（担当：江刺・八木）

6月2日(土)開催の調布市環境フェアに会場した市民を対象にゴーヤ苗 800 株を配布しました。ゴーヤ苗の育ちがよく、良い苗が配布できました。

**(4) 自然環境活用事業**（担当：小林・江刺・安部・大村・鍛冶・石川）

市民が生物多様性に富んだ調布の自然環境を学べるよう、市内の身近な自然資源を環境学習等に活用できる教材として深大寺自然広場(通称 カニ山)のマップ作製検討を行いました。

**(5) 深大寺・佐須地域環境資源管理・活用委託事業**（担当：江刺・安部・山本・紺野）

以前からちょうふ環境市民会議が佐須地域の里山保全について要望をだしていたこともあり、公有地化された深大寺・佐須公有地の活用について環境資源管理と2年間の暫定活用について事業受託しました。①下草刈り・コンポストづくり、②レンゲの種まき、③草木灰づくりのワークショップと、日常の管理を行い、計画提案をしました。600 m<sup>2</sup>の管理について契約時期が5月となり野菜の栽培時期を逸し、皆伐採した土地の草刈りに追われたことや猛暑で下草刈りが思うように進まなかったことなどもあり、実際の畑耕作につながらない点や参加者が少なかったことが課題として残りました。

**(6) 調布市環境基本計画協働推進検討事業**（担当：岡部・江刺・鍛冶・大村・安部）

調布環境基本計画・重点プロジェクトの中の「自然環境情報のデータベース化に向けて」「環境リーダー等の育成」「環境活動ボランティア支援」「市民団体等が主体となって環境活動を実施」するために必要な仕組みづくりについて、市民団体の立場からの検討をプロジェクトとして15回行い、報告書にまとめ提出しました。

また「環境リーダー等の育成」に繋げるため、次年度はまず活動参加者数を増やしていくため、身近な事柄から環境について考えていく基礎的講座を開催するための検討と計画を行いました。

**(7) 国分寺崖線ウォークイベント事業**（担当：大村・安部・小島・石原・神山・鍛冶）

国分寺崖線の保全活動をひろく市民に周知し、人材育成と環境教育の一環等を目的としてこの間予算要望していた事業が採択され、12月1日10時～15時に天気快晴の中実施しました。雑木林連絡会のメンバーを中心に企画運営のための8回の実行委員会の他、実踏やスタッフ説明会等を開催し「安全確保」を重点にしたスタッフ配置で実施しました。コースについては、2015年11月8日（カニ山の会とちょうふ環境市民会議共催）の実施コースを元に仙川駅前公園から三鷹市の崖線の尾根を歩きつつじヶ丘公園を經由してゴールはカニ山という新たなコースにしました。当日は参加者41名（内子ども5人）が約6Kmを歩きました。ゴール地点では、12ヶ所のクイズ全問正解者に調布未来のエネルギー協議会提供の仙川はちみつを提供することができました。スタッフは35名で前日のコース案内矢印張りなど安全確保に努めました。コースは高低差があり崖線を堪能でき、2回のガイドウォークで国分寺崖線の歴史・文化等も学ぶことができ、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」などの感想がよせられ、2019年度も市事業として実施予定です。

## (8) 緑地保全のための先進事例学習事業（担当：安部・大村）

緑の基本計画の推進において「職員とともに市民が緑地保全・崖線保全・人材育成等について学ぶことが大切である」と2018年に予算要望した事業を受託しました。「NPO法人三鷹花と緑の創造協会の活動実践」、「NPO birthの実践事例（野川公園の管理、NPO birthの活動・実践について、浅間山公園新保全管理方針策定等）」、「NPO法人くにたち農園の実践事例」、「多摩地域における都市農業」「調布市の農業政策」について、ヒアリングや視察を行いながら先進事例を学びました。職員とともに同じ情報を得て意見交換ができたことは、市民活動への理解が深まり、市民は調布市事業についても知る機会となり人材育成・施策の進め方など市民との協働につながる有意義な事業となりました。残念ながら2019年度は予算の確保はできませんでしたが、市民会議の自主事業として年1回程度の先進事例を職員と共に学ぶ機会を設けていきたいと考えています。

\*上記（1）～（7）の受託事業はプロジェクト方式で運営しました。

## ■第2号議案 2018年度収支報告

[自2018年4月1日 至2019年3月31日]

単位：円

			予算	決算額		
収入	活動準備金		78,595	78,595		
	会費	正会員 個人	50,000	47,000	47名	
		正会員 団体	13,000	13,000	13団体	
		正会員 法人	15,000	15,000	5法人	
		サポーター 個人	8,000	6,500	13名	
		小計	86,000	81,500		
	事業	自主事業	25,000	24,232	アースティ/環境フェア/情報館まつり	
		受託事業	2,636,820	2,636,820	環境学習事業/基本計画検討事業/深佐須活用事業 産線ウォーク/先進事例学習	
		小計	2,661,820	2,661,052		
	寄付金		120,000	507,126	受託事業関連:352,474	
	雑収入		0	7	利子	
	収入合計		2,946,415	3,328,280		
支出	事業費	自主事業	交流事業費	31,000	24,247	アースティ/環境フェア/情報館まつり/ 雑木林連絡会
			活動推進事業費	5,000	0	
			広報事業費	101,000	101,969	自然だより HP維持管理 ネットメイン
			調査研究・学習費	22,000	10,000	データ収集管理
				159,000	136,216	
		受託事業		2,636,820	2,636,820	環境学習事業/基本計画検討事業/深佐須活用事業/ 産線ウォーク/先進事例学習 事務局人件費216,000含む
		小計	2,795,820	2,773,036		
	管理費	旅費交通費	25,000	24,800	理事会交通費	
		会議費	8,500	6,806	総会・理事会	
		通信費	1,000	1,690	郵送代	
		事務用品・消耗品	6,000	10,053		
		雑費	0	16,200	お供え花代	
		事務局人件費	41,000	41,000	会計 メーリングリスト管理	
		小計	81,500	100,549		
	支出合計		2,877,320	2,873,585		
特別	記録誌積立		5,000	5,000		
会計	什器備品積立(カメラ等電子機器)		5,000	5,000		
	小計		10,000	10,000		
次年度活動準備金			59,095	444,695		
<b>特別会計積立金累計</b>						
			2017年度まで	2018年度積立	累計	
記録紙積立			25,000	5,000	30,000	
什器備品積立			30,000	5,000	35,000	
PC機器積立			98,000	0	98,000	

## ■第3号議案 2018年度監査報告

2019年4月30日、会計担当理事の立ち会いのもと、監査を行いました。

1. 2018年度収支報告に相違はありません。
1. 領収書等証票類に間違いはありません。
1. 業務執行は適切に行われています。

2019年4月30日

監事 赤川 忠明

## ■第4号議案 2019年度事業計画（案）

○規約にかかげた活動目的・方針にもとづき、活動を楽しく行います。

- ・東日本大震災後、都市に住む市民の暮らし方が問われています。暮らしを根本から見直し行動する「私から始めるエコライフ」の活動に引き続き取り組みます。
- ・調布市の自然環境をはじめとする「環境」について、環境を考える市民・事業者・団体に向けて活動で得られた情報や知恵を共有できるよう連携して活動していきます。
- ・市民・活動団体・企業等との連携を図るプラットフォームとしての役割を担う上で必要となる、市民向け環境情報の受発信の基地等についても検討していきます。
- ・予算要望活動により、これまでの環境学習交流推進事業委託の他に、前年度に引き続き①環境基本計画を実効性のある計画とするための人材育成講座の開催と中間報告会開催にむけての提案「協働推進事業」、②深大寺・佐須地域環境資源管理・活用委託事業（2019年度で暫定使用終了）③国分寺崖線ウォークイベント事業の業務受託など、環境市民会議の役割と責任が大きくなっています。2019年度もプロジェクト(PJ)ごとに事業実施に取り組みます。  
これら多岐にわたる委託事業や自主事業を継続していくプロジェクトチーム(PJ)には、多くの会員のご協力をお願いいたします。
- ・今後も継続して環境保全活動を担う人材確保のため組織運営の再構築についても検討します。

### <自主事業>

#### (1) 交流事業

- ・各種イベント参加による、ちょうふ環境市民会議の活動紹介と交流
- ・コーディネート活動（雑木林連絡会事務局 その他活動支援など）

#### (2) 活動推進事業

- ・ここ数年、大きな問題となっているマイクロプラスチックについての講演会を西部公民館の地チャレンジクラブ未来と共催で開催します。
- ・会場（カニ山キャンプ場）の都合で昨年度開催できなかった「しめ飾り作り」も開催予定です。



### (3) 広報事業

- ・自然だよりの発行(年4回の季刊)
- ・WEBによる広報(メーリングリスト、HP、フェイスブックなどで情報発信)

### (4) 調査研究

- ・昨年度の受託事業「緑地保全のための先進事例学習」は市職員とともに学ぶことで「緑地保全」の視点で情報交換・共有ができました。今年度も緑地保全についての共通認識をもつために自主事業の一つとして他の環境保全団体の視察を行う予定です。

### (5) 提言活動

- ・環境基本計画の実施状況等のみならず、環境全般について会員皆がアンテナを高くし、得た情報の中から課題となる事項を取り上げ政策提言等行っていきます。

## <受託事業>

### (1) 雑木林ボランティア講座運営事業

- ・年間6回程度の講座の企画運営と広報物の作成(チラシ・自然だより等での講座PR)。今年度は前年度等の受講生にも声をかけ、第1回講座終了時に受講生(希望者)とOB・講師・スタッフの懇談会を行い、早めに意見交換のしやすい状況を作っていきます。

### (2) 環境保全団体・市民の交流事業

6/14(金)・15(土)・16(日)開催 講演会・交流カフェ・活動紹介等の展示

「ちょうふ再発見～里山のあるまち」として佐須地域の田畑を考える講演会を開催予定。交流カフェではゴミ問題や省エネ(えねこや)、佐須地域の保全に関しておしゃべりをしたいと思います。

### (3) エコライフ推進プログラム事業(ゴーヤ苗配布)

6/1(土)市役所前庭で開催の環境フェアにおいてゴーヤ苗の配布(800株)を行います。ただし6/1が雨天の場合は6/3(月)に配付を行います。

### (4) 自然環境活用事業

入間・若葉地区の「もりのちず」に引き続き、佐須地区にあるカニ山の自然環境案内マップ作成を行います。

### (5) 深大寺・佐須地域環境資源管理・活用委託事業

3回のワークショップの他、作付けしたジャガイモ等の収穫祭を予定しています。保育園等にも呼びかけ、参加者を募る予定です。

### (6) 環境基本計画協働検討事業

- ・調布市環境基本計画の見直しに向けた中間報告会についてプロポーザルで決まった業者と意見交換をしながら実りある報告会としていきます。
- ・環境リーダー等育成のための仕組みづくりの検討結果に基づき環境講座の運営を行います。

#### (7) 国分寺崖線ウォーク実施

昨年に引き続き、実行委員会による企画運営で12月1日（日）に実施予定です。  
新たなコース設定にするのかも含め実行委員会で検討していきます。

# ■第5号議案 2018年度予算(案) [自2019年4月1日 至 2020年3月31日]

単位: 円

			前年決算額	19年予算	内訳
収入	活動準備金		78,595	444,695	
	会費	正会員 個人	47,000	50,000	50名
		正会員 団体	13,000	13,000	13団体
		正会員 法人	15,000	15,000	5法人
		サポーター 個人	6,500	7,000	14名
		小計	81,500	85,000	
	事業	自主事業	24,232	18,000	アースデイ/環境フェア/情報館まつり6,000×3
		受託事業	2,636,820	2,301,020	環境学習事業:1095千円 深・佐須:300千円 基本計画検討:521千円 崖線ウォーク:385千円
		小計	2,661,052	2,319,020	
	寄付金		507,126	110,000	
	雑収入		7	0	
	収入合計		3,328,280	2,958,715	
支出	事業費	自主事業			
		交流事業費	24,247	21,000	アースデイ/環境フェア/情報館まつり 5,000×3 雑木林連絡会6,000
		活動推進事業費	0	25,000	講演会 しめ縄イベント
		広報事業費	101,969	101,000	自然だより(3回)45,000 HP維持管理48,000 ネットメイン8,000
		調査研究費	10,000	20,000	デー&PJ スタッフ10,000 学習事業10,000
			136,216	167,000	
		受託事業	2,636,820	2,301,020	事務局人件費216,000含む(18000×12)
		小計	2,773,036	2,468,020	
	管理費	旅費交通費	24,800	25,000	理事会出席交通費
		会議費	6,806	8,500	総会関連 理事会資料等
		通信費	1,690	2,000	資料郵送等
		事務用品・消耗品	10,053	11,000	
		雑費	16,200	0	
		事務局人件費	41,000	41,000	会計3,000×12 M/J管理5,000
		小計	100,549	87,500	
	支出合計		2,873,585	2,555,520	
	差引(収入-支出)		454,695	403,195	
特別	記録誌積立		5,000	5,000	
会計	什器備品積立		5,000	5,000	
	小計		10,000	10,000	
次年度活動準備金			444,695	393,195	

## ■第6号議案 役員を選任

役員任期2年の改選年にあたり、次に掲げた理事及び監事の選任を提案します。

理事	安部宝根	岡部和平	里 厚雄	鍛冶直美	紺野裕子	石川和宏
	中原彰子	大村哲夫	山本 豊			以上 9名
監事	赤川忠明					以上 1名